

セーフコミュニティ年間活動報告書

本レポートは、毎年、認証された「月」の末日までに提出してください。

コミュニティ名	横浜市栄区
認証年月日	2013年 10月 5日
報告提出日	2021年 11月30日

〔報告書担当者〕 ※本報告書に関する問い合わせ等に対応できる方

よみがな 名前	ながまつ ひろし 永松 弘至
所属（肩書き）	横浜市栄区役所総務部区政推進課長
電話番号	045-894-8161
E-mailアドレス	sa-kikaku@city.yokohama.jp

指標 1 分野横断的な協働の仕組み

1-1. 過去1年に、セーフコミュニティ推進協議会等のSCの方向性を決定する組織および対策委員会等の重点課題に対する取組を推進する組織において大きな変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」と答えた場合は、変更点について詳細を記載してください。

例) これまで主な協働関係にあった方（組織）で担当でなくなった方や関係を解消した組織、あるいは新たに推進組織に加わった方（組織）など

--

1-2. 推進組織メンバーリストを添付してください・・・・・・・・・・ [添付1]

リストには下記の項目を設定してください。

氏 名	所 属	肩書き	備考

1-3. 推進組織（SC 推進協議会）は、この1年間で何回開催しましたか？

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

会議名	開催日	主な議題	備考
栄区セーフ コミュニティ 推進協議 会	2020年 5月31日	1 2019年度栄区セーフコミュニティ事業報告について	書面 開催
		2 2019年度栄区セーフコミュニティ分科会活動について	
		3 2020年度栄区セーフコミュニティ事業計画について	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付2〕

1-4. 対策委員会委員のリストを添付してください。・・・・・・〔添付3〕

リストには下記の項目を設定してください。

対策委員会名	氏名	所属	備考
			会長
			副会長

※ 対象者やプログラムの数に応じて、上記の表をコピーして活用してください

1-5. 過去1年間で何回対策委員会を開催しましたか？会議名・開催日・議題について示してください。

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

対策委員会名	開催日	主な議題	備考
こども安全対策	2020年11月4日	分科会の取組、セーフコミュニティ連絡帳 他	
	2021年3月1日	令和2年度取組(中間)報告、セーフコミュニティ連絡帳、令和2年度 栄区セーフコミュニティアンケート集計概要 他	
スポーツ安全対策	2020年7月20日	2020年度の分科会活動について、分科会だよりの発行について 他	
交通安全対策	2020年9月16日	活動報告、活動計画、交通事故発生状況、取組方針、自転車用ヘルメット着用の啓発、市立保育園園児の自転車用ヘルメット着用率にかかわる調査結果、令和元年度スクールゾーン対策協議会での要望と対応結果 他	
	2020年11月13日	活動報告、活動計画、交通事故発生状況、児童の自転車用着用ヘルメット着用率調査 他	
児童虐待予防対策	2020年8月27日	昨年度の活動の振り返り、今年度の活動について 他	
	2020年10月27日	啓発活動について、今後の活動について 他	
	2020年12月22日	啓発活動の状況、いのちの授業について 他	
	2021年3月2日	啓発活動の状況、いのちの授業について 他	

高齢者安全対策	2020年10月16日 2021年2月10日 (書面開催)	活動報告、転倒予防アンケート集計結果報告、転倒予防フォローアップ研修会後のアンケート集計結果報告、活動スケジュール、転倒予防DVD製作 他 転倒予防対策・ヒートショック対策に関する実施評価及び次年度の取組について、次年度の分科会スケジュール 他	
災害安全対策	2020年5月 (書面開催) 2020年12月 (書面開催)	地域防災拠点訓練実施状況報告、セーフコミュニティ災害安全対策分科会からの提案 他 災害安全対策分科会活動、地域防災拠点訓練実施状況報告 他	
自殺予防対策	2020年9月 (書面開催)	自殺予防対策の取組報告、地域自殺実態プロフィール、横浜市自殺対策計画 他	
防犯対策	2020年8月19日 2021年2月 (書面開催)	簡易型自動通話録音機「録音チュー」の配布報告、合同パトロール、振り込め詐欺に関するアンケートの結果 他 合同パトロール結果報告、振り込め詐欺に関するアンケートの実施(予定) 他	
傷害サーベイランス	2021年3月12日	分科会間の連携状況、セーフコミュニティアンケート集計結果 他	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付4〕

1-6. 過去1年間の財政マネジメントにおいて変化がありましたか？（資金調達方法など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

1-7. 次の1年間の財政計画について述べてください。

・セーフコミュニティ事業 4,080千円（2021年度予算額）
（内訳）取組の推進：1,730千円、フォーラム：1,300千円、プロモーション：1,050千円

1-8. 過去1年間で（対策委員会等の事務局ではなく、SC活動全体を担う）事務局機能において変更がありましたか？（事務局スタッフの変更や規模の変更など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

指標2 プログラムの包括性・持続性

2-1. 過去1年間で、全ての住民（全年齢・両性別）あらゆる環境や状況をカバーするための取組において変更がありましたか？（報告書に記載した取組において変更や追加等がありましたか）

はい いいえ

※「はい」と答えた場合、それは下記のマトリックスのどの領域ですか？

		子ども (0～14歳)	青年 (15～24歳)	成人 (25～64歳)	高齢者 (65歳～)
不慮の要因	家庭の安全	① S C連絡帳		① S C連絡帳	
	学校の安全	① S C連絡帳		① S C連絡帳	
	職場の安全				
	余暇・スポーツの安全	① S C連絡帳		① S C連絡帳	
	公共の安全 交通安全	① S C連絡帳		① S C連絡帳	
	自然災害	① S C連絡帳		① S C連絡帳 ② 栄防災ノート	② 栄防災ノート
意図的要因	暴力 (DV, 虐待含)				
	自傷・自死				

変更した内容について説明してください。

・セーフコミュニティ連絡帳

一般的な連絡帳の内容に加え、KYT（危険予知トレーニング）のイラストや、他の分科会と連携し取組分野に関連した子ども向けの記事やコラムを掲載した連絡帳を制作し、区内小学校の1～6年生に配布した。

・栄防災ノート

防災に役立つ情報の他、利用者が自ら書き込んでいくことで、備蓄や家具の固定、避難場所の確認等災害時の備えができる「栄防災ノート」を、高齢者安全対策分科会と連携して制作し配布した。

2-2. 過去1年間で重点的な領域・課題（項目）・対策委員会等において変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

例) 重点項目、政策、政治、個人、資金などにおける変化及びそれによってどのように協働や継続性、成果などに成果があったのか、など

2-3. その他、コミュニティの特性を生かした取組について、その進展について記載してください。

例) モデル地区の取組など

指標3 ハイリスクグループおよび環境に対する取組

3-1. 過去1年間で、ハイリスクの集団・環境・状況に変更等がありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、具体的にその詳細を記載してください。

--

3-2. 過去1年間において、各ハイリスクグループや環境に対してどのような取組を展開しましたか？

その内容と取り組みの成果について記載してください。

※ 対象者やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

ハイリスク対象	取組内容	成果
	<div data-bbox="461 882 1050 1090" style="background-color: #d9e1f2; padding: 10px; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: auto;"> <p>別紙 指標3・4のとおり</p> </div>	

《交通安全対策分科会》

区内市立保育園（4園）の保護者に加え、区内市立小学校（4校）の全校児童に対し、自転車用ヘルメット着用率調査アンケートの実施し、着用状況を把握することができた。

《児童虐待予防対策分科会》

地域や関係機関の理解が進み、児童虐待に関する相談や通告が増えている。

《高齢者安全対策分科会》

転倒予防体操の動画を作成し、身近な集まりや自宅でも気軽に体操に取り組むことができるようにYouTubeでの配信やDVDを配付した。

《災害安全対策分科会》

災害時要援護者支援の取組拡大補助金交付について、より積極的な活用を目的とし、対象経費の見直しを行い、「発災時を想定した取組」のみでなく、「啓発活動」「日頃からの取組」も対象に加えた。（令和3年度から実施済）。

防災に役立つ情報の他、利用者が自ら書き込んでいくことで、備蓄や家具の固定、避難場所の確認等災害時の備えができる「栄防災ノート」を、高齢者安全対策分科会と連携して制作し配布した。

《自殺予防対策分科会》

自殺リスク者向けの支援ツール（カード、リーフレット、パンフレット）を活用し、区内の医療機関、福祉関係機関、行政機関で協働してリスク者への相談支援を続けることができている。

《防犯対策分科会》

振り込め詐欺防止のための啓発物品を作成し、自治会町内会等に配布するなど広く啓発する事ができた。

指標5 外傷サーベイランス

5-1. 報告書で示した計画通りに外傷データの分析を行いましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、そのデータの入手先、分析の方法・内容、分析結果の活用方法を記載してください。

- ・救急搬送データ（横浜市消防局）
【こども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会、高齢者安全対策分科会、自殺予防対策分科会】
 - ・セーフコミュニティアンケートまたは栄区民意識調査（栄区）【全ての分科会】
 - ・人口動態調査（厚生労働省）【高齢者安全対策分科会、自殺予防対策分科会】
 - ・学校アンケート（栄区）【こども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会】
 - ・交通事故統計データ（栄警察署）【交通安全対策分科会】
 - ・災害共済給付オンライン請求システムの学校安全情報（独立行政法人日本スポーツ振興センター）
【こども安全対策分科会】
 - ・児童虐待対応件数（横浜市こども青少年局）【児童虐待予防対策分科会】
 - ・介護保険認定データ（横浜市健康福祉局）【高齢者安全対策分科会】
- それぞれ、各分科会の事務局分析等に活用した。

5-2. 来年に向けて、外傷データの分析における課題や改善点すべきはありますか？

はい いいえ

※「はい」の場合、その詳細について具体的に記載してください。

今後の課題

- ・分析に必要な外傷データについて、横浜市全体については把握できているものでも、栄区独自では把握できていないものがある。調査方法や規模を含め、継続的なデータ収集方法について改善する必要がある。
- ・一部の分科会では、死亡だけではなく中等症のけがまで集計し分析すると、より効果的な取組の検討に繋げることができる。
- ・ヒヤリハットなど救急搬送データ等からは把握が難しい外傷について、把握・分析する仕組みを検討する。
- ・一部の分科会において、人口構成の変化等から、指標としているデータの見直しを検討する必要がある。（例：65歳以上の救急搬送件数を、人口一人当たりの件数にする）

指標7 SCネットワーク（経験や知識の共有）

7-1. 過去1年間、次のネットワーク等に参加・貢献しましたか？

- a) 国際的なSCネットワークへの参加・貢献 → はい いいえ
- b) 国内のSCネットワークへの参加・貢献 → はい いいえ
- c) アジア地域のSCに関する行事等・貢献 → はい いいえ

※「はい」と答えた場合、その内容について概要を記載してください。

b) 国内ネットワーク ※すべてオンライン参加

2020年8月24日 JISC担当者研修会 参加
 11月17日・18日 鹿児島市現地審査 視察
 11月25日・26日 都留市事前指導 視察
 2021年3月22日 日本セーフコミュニティ定例会 参加

7-2. 過去1年間、住民に対して行ったフィードバックについて記載してください

例) 取組の進捗状況、成果等に関する報告など

《全体》

新型コロナウイルス感染症の影響により、住民に直接はたらきかけることが難しかったが、記事の工夫や新たな広報媒体の作成等、状況に合わせた取組を実施した。

《催事の実施または出展》

・例年実施している「セーフコミュニティフォーラム」「栄区民まつり」が中止となり、多くの区民が来場する場を活用したPR活動ができなかった。

《区の広報媒体を活用した取組紹介》

・広報よこはま栄区版に分科会の取組を紹介したコラム「やってみよう！セーフコミュニティ」を隔月掲載した。また、10月号では特集記事「セーフコミュニティやってみた ～実践！自宅のできるセーフコミュニティ～」を掲載し、家庭内での取組にクローズアップした内容にする等、コロナ禍で自宅で過ごすことが多くなった状況に合わせた内容とした。

・認証を取得した10月を「セーフコミュニティ推進月間」と定めており、図書館でのセーフコミュニティパネル展を実施し、広い世代の区民がセーフコミュニティを知る機会を設けた。

《新たな広報媒体》

・PR動画を制作し、非対面でも活動内容がわかりやすい広報ツールを作成した。

《その他各種刊行物やチラシ等への取組掲載》

・SAKAE早わかりノート（統計資料）

- ・区民生活マップ
- ・自治会町内会マップ

8. その他

8-1. この1年間でもっとも積極的に取組んだ活動は何ですか。取組みの経緯・経過を含めて説明してください。

《分科会間の連携した取組》

2018年の現地審査で審査員から指摘のあった「分科会間の連携した取組実施」について、セーフコミュニティ連絡帳（こども安全対策分科会）、栄防災ノート（災害安全対策分科会）を制作し、配布しました。

《プロモーション活動》

隔月で実施している広報誌のコラムでは、区民がセーフコミュニティの取組をより身近に感じられるよう、分科会の活動を具体的に紹介した。

8-2. 最後に、SC活動およびSCネットワークについて自由にお書きください。

セーフコミュニティの仕組みを取り入れることにより、住民と関係機関や行政が一体感を持ってまちづくりに取り組むことができている。また、現地審査での審査員からの助言を活かし、新たな活動ができた一年となった。

添付資料

次の資料が添付されていることを確認したうえで提出してください。

※ 添付したものは「□」を塗りつぶしてください。

- 添付1：推進協議会メンバーのリスト
- 添付2：推進協議会の「次第」「出席者リスト」「議事録」
- 添付3：対策委員会メンバーのリスト
- 添付4：各対策委員会の「次第」「出席者リスト」「議事録」
- 添付5：アセスメントに関する資料
- 添付6：市民へのフィードバックに関する資料
- 資料（別紙）：指標3・4 対策委員会の取組について等
- 資料（別紙）：指標6 対策委員会による取組のアセスメントについて

本レポートは、「ワードファイル」で、認証月の末日までに 支援センターに提出してください。
添付書類については、どの項目に対する添付資料かわかるようにしてご提出ください。